

おお大勝利

平成 26 年度山東サッカー一部報第 21 号 (10 月 16 日)

サッカー一部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

選手権第一ラウンド まずは突破

10 月 11 日 (土)、12 日 (日) 高校サッカー選手権山形県大会一・二回戦が開催されました。山東の 11 日初戦の相手は寒河江高校。地区新人でも対戦し、昨年も選手権予選の一回戦の相手。よく当たる相手という気がするし、何より 2 年連続選手権初戦の相手。2 戦とも山東が勝利しているが、去年の選手権での対戦では相手の縦の迫力に相当苦しめられた覚えがある。現 3 年生の攻撃陣にタレントがいるとの印象あり。よって、寒河江との対戦が決まった後に抽選会場にて KZ 顧問にかけた言葉は「3 年生は残っているんですか?」。その時ははっきりした返答はありませんでしたが、相手のメンバー表を見て「やはり・・・」。警戒すべき選手が先発に名を連ねている。ベンチでは、別々にではありますが、齋藤 GK コーチ、志村顧問ともに、「選手権のために『戻った』3 年生に対して、練習を続けた 1・2 年生の力を見せつけるべきでは?」と血気盛んな発言。そう、来年 Y1 を戦う山東は 3 年生の存在に怯んでいる場合ではない¹。場所は米工 G。去年の県総体でホーム米工に初戦敗退を喫した「忌まわしき場所」。しかし、このたびその感触の悪さを払しょくする戦いをして、そのイメージをなくさなければならない。そんなことを考えながら、試合開始を待ちました。清野 OB 会長、後藤報道局長、そして大勢の保護者の応援を受け、13:30 キックオフ。

立ち上がり、チャンスをつかんだのは山東。Y2B 米工戦 (後期) の立ち上がりのように、左サイドからムンタリが抜け出しファーサイドへ左足でシュート、GK 弾く。そこまでは一緒。リーグ戦ではそのボールがタイチの前に転がりましたが、今回はそんなふうには行かず。ともかく、早々に山東がリズムをつかんだかに見えました。しかしその後は、不安定なプレーで冷や冷やの DF 陣、ボールロストの多い MF 陣、ボールを収めることのできない FW 陣と、全体的に調子が上がらない。というか、「調子」などという言葉で誤魔化してはいけない。要は、トラップでボールをしっかりと「何でもできる場所」²に置くことができず、不用意に弾ませたり、ボールの弾みを抑えられなかったり、相手が右から迫ってきているのに自分にとって右側にボールを置いた方が心地よからボールを右側に置いたり、相手が背後にいないにもかかわらず後方からのパスを横にトラップしわざわざゴールから遠ざかったり、とにかくもう「止める、蹴る」という基本が滅茶苦茶。もちろん、技術の高いチームとってはいなかったですが、もう少し上手いと勘違いしていました。目の前で繰り広げられるサッカーは、**とても来年 Y1 を戦うチームとは言えず**。しかし、リーグ戦から繰り返し記した表現ですが、**山東優勢とも言えないどっちつかずの展開の中、点だけは入ってい**

¹ こう言いますが、もっとも 3 年生の存在を気にしていたのは監督である私です (よくよく考えれば、血気盛んなお二人の言葉は不安げな監督を励ます意味があったか)。

² ロングキック、ショートパス、ドリブル何でもできるところにボールを置くことのできる選手が良い選手です。

く。まずは右サイドの深い位置で相手からボールを奪い、**ムンタリ**が角度のないところから決め、先制。そして前半終了間際、確か**カツミ**のラストパスに**タイチ**が抜け出し、冷静にフィニッシュ。結局 2FW がそれぞれ得点し、2 対 0 で折り返す。

後半は故障がちな選手に代え、フレッシュな一年生を投入。その中で、**団長改めタコ**と**タクオ**³は相手 DF と GK の軽率なプレーをとがめ、GK からボールを奪い、3 点目ゲット。そして、**山東サッカー部に隔年で現れると言われるユウタロー**はカットインからの得意の右足のシュートでチャンスを作り、そのゴチャゴチャの中で「**ウッカリ八兵衛**」ならぬ「**チャッカリカスマ**」が決め、4 点目ゲット。後半は丁寧な攻めた訳ではなく、ボールコントロールがままならない課題は相変わらず。**相手の速攻からのゴール右上へのシュートを GK サフローが練習通り右手一本で弾いた**のが守備における最大の見せ場。ともかく、内容は非常にさびしい初戦は 4 対 0 とスコア的には危なげなく勝利。相手の 3 年生に見せ場を作らせなかったディフェンスの頑張り以外、あまり褒めるところのない試合は超消化不良のまま終了。山形市に帰って学校にて解散しましたが、その際選手の口から出る言葉は反省に次ぐ反省でした・・・。

翌 12 日二回戦。場所は同じ米工 G。相手は一回戦で米商を破った新庄南。故障がちな選手を外し、大胆な布陣で臨む。前日新南の試合を観た中では、相手のトップ下のかなりガッシリした一年生がキープレーヤーと思えたので、その選手への対応等を確認して試合に備える。しかし、メンバー表を見ると・・・「あれっ、先発でない。」拍子抜けしましたが、ともかくキックオフを迎える。無風で、前日より良い環境。

試合が始まると、FW タツルの馬力を生かしたドリブルから山東がチャンスを作り出す。前日より丁寧な試合運び。新南の選手は慎重にも簡単に飛び込んで来ないため、山東のボールホルダーには余裕がある。そんな環境で丁寧にパスをつなげるのは当然の話。**タツル**のドリブルからの意表を突くシュート⁴で先制。その後、**チャッカリカスマ**が浮き球のパス？から抜け出し追加点を上げ、仕上げはタツルが野性的ドリブルで DF、GK を交わし、ネットを揺らし、前半 3 対 0。周りとのパスワークとドリブルのテクニックで抜け出しつつも決めきれなかったカツミのシュート⁵を始め、もっと点が取れたはずのもったいない前半でした。そして後半は更にもったいないというか、シュートが下手というか。点差が離れていたもので安心して試合を観ていましたが、詰めの甘さは改善の必要あり。また、攻撃での詰めの甘さは守備の集中不足も招き、一発カウンターからあわやというシーンを作られたり、DF と GK との連係ミスからつまらない失点をしかけたり。ともかく、故障がちな選手を休ませながら何とか試合をものにし、選手権第一ラウンドを無事に突破。

さて、次戦の相手は、やはり新庄東となりました。今年のリーグ戦では苦戦し、Y1 優勝の日大山形がプリンスリーグ東北への昇格決定戦⁶に敗れば Y2 に降格することとなっているチーム。対して山東は来期 Y1 への昇格を決めているチーム。勢いに差がある、と言いたいところですが、Y1 で苦しい戦いを強いられたとはいえ、今年の新東は「完成学年」。3

³ なぜ団長の尊称が改められたかと言いますと、**サッカー部から、山東の未来の応援団長（副団長）候補が出現するかもしれないことになったからです（兼部という形で）**。山東サッカーOB会 HP をくまなく見ている方は、その意味がわかるかと思います。

⁴ 意図的かどうか分かりませんが、ファーサイドに打つと見せかけてのニアサイドへのシュートでした。

⁵ このシーンには、**応援に来ていたご両親と、現在進学に向けて勉強中だがその合間に応援に駆け付けた姉ミサキ（今年の 3 月卒業の元マネージャーの OG）も、スッコケていました**（カツミがあり得ないシュートミスをした瞬間、視線を応援席に向け確認しました）。

⁶ 今年は 11 月の第 2 週の土日に、岩手県の県リーグ 1 部優勝の遠野高校と戦います。日大山形がそれに勝つと、日大山形はプリンスへ、新庄東は Y1 に残留します。この場を借りてですが、**日大山形の皆さん、山形の代表として頑張ってください。**

年生にタレントが綺羅星のごとくおり、それを1・2年生がフォローするタレント軍団。苦しい戦いは必至です。遠方での試合となりますが、応援よろしくお願ひします。

10月18日(土) 選手権3回戦 VS 新庄東 @庄内町八幡スポーツ公園 13:30~
それに勝つと

10月19日(日) 準々決勝 VS 山形商業と鶴岡南の勝者 @榊引総合運動公園 13:30~

酒田シティハーフマラソン実施に伴う交通規制の関係により、会場変更となりましたのでご注意ください!!!

力をもらいました! 秋の保護者激励会

9月28日(日)、Y2B最終節鶴南戦の翌日、選手権・県新人に向けた保護者会主催の激励会がメトロポリタン山形にて開かれました。前日Y1への昇格を決めたとあって、会は今後の激励会というより祝勝会の様相を呈する。OB会から清野会長・後藤報道局長・岸幹事長、齋藤GKコーチの4名が出席して下さり、**草壁前保護者会長も急遽参加**。そして佐竹校長も春の激励会に続き、単一部の会合への「異例の」出席。武田保護者会長からは「今年のチームは非常にまとまりが良い、期待して応援したい」旨のスピーチ、そして例年通り熱い清野会長の激励の後は乾杯。前日の余韻冷めやらぬさなかであり、宴は賑やか。

しばらくすると、部員一人ひとりの意気ごみのスピーチ。春は顧問のテコ入れによる一発芸の披露がありましたが、今回はなし。やれと言われないとやらない**一発芸に対する意識の低さ**が目立ちました。意気ごみのスピーチは、軽い勢いというよりふつふつと燃えるものを感じさせる発言が多く、聞く者の期待感を膨らませました。

ホテルでの2次会のあとは、駅前での3次会へ。楽しい一日となりました。**保護者の皆様、大会へ向け力を頂戴しました。ありがとうございました。**

進学校大会 二度目の優勝

10月4日(土)5日(日)蔵王坊平にて第5回進学校大会(ヤマコー杯)が行われました。第一回優勝は鶴南、二回は山東、三回は山南、四回は鶴南(出場チームは左の3校の他は酒東、米沢興譲館、新北)。今年は昨年と違い、目立った怪我人もなく、次週からの選手権に向けて良い調整ができると意気込んで臨んだ大会。様々なメンバー・組合せを試し、基本布陣が上手くいかなかった時のための「プランB」⁷を作ることをコンセプトに大会入り。結局試合は最終戦の山南に負けた以外は勝ち、4勝1敗で優勝となりました。充実した大会、そして充実しすぎた夜の顧問会議でしたが、怪我人もなく大会に入ったものの複数の怪我人を抱えて大会を終えた関係もあり、大会の後味は微妙。とにかく、進学校の皆様、お疲れ様でした。今シーズンの残りの大会、がんばりましょう。

⁷ ちょっと前から聞く言葉でしたが、今回のワールドカップを機に、本格的に使われ始めた言葉ではないでしょうか。基本布陣(戦術)のプランAに対する対抗布陣(戦術)の意。